

公益社団法人 インテリア産業協会
平成 24 年度 事業報告
(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

公益社団法人としてスタートした初年度にあたって、基本的には(旧)社団法人の事業を継続しつつ事業運営の効率化を進め、一層の社会的役割を果たすべく、以下の事業活動を行いました。

I 基本方針関連

基本方針関連についての活動概要は次のとおりです。

- ① 4月に沖縄支部を設立し沖縄地域の活動の拠点としたことのほか、全支部の会計処理、事務局業務委託契約及び事務所貸借契約などの事務処理の整備を行い、支部活動の効率化を図りました。
- ② 資格試験制度の普及を図るべく若年層への啓蒙活動の強化として中学生の教材副読本の頒布事業を準備するほか、試験制度見直しの一環としてIC一次試験の科目統合を方針化し、関係するICハンドブック改訂の原稿作成を本格化しました。
- ③ 一般生活者への更なるインテリア等の普及を図るべく、他機関が従前から行っていたリフォーム関係展示会との統合を行い、新たな展示会（リフォーム&インテリア 2012）として共催し、休日開催を実現するなど運営方法の改善をおこないました。
- ④ 支部活動として行ってきた従前の「トータルインテリアキャンペーン事業」等の講座等開催事業の内容を能力育成と普及啓蒙とに区分整理し、本部の管理のもとに支部が実施運営する体制を強化しました。

II 事業委員会活動

協会各事業の運営方針案等を審議する以下の各委員会（総称「事業委員会」）については、インテリアフェスティバル実行委員会を廃止しインテリア普及啓蒙委員会に統合改組して活動の一層の活性化を図ったほか、次のとおり活動しました。

(1) 運営委員会

本委員会では、協会事業の重要方針・事業等として、平成25年度活動方針、同年度予算案、30周年記念事業基本方針等について審議を行い、結果を平成25年度の事業計画・収支予算作成、関係事業等に反映しました。

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、広報活動改善として業界メディアへの情報発信委託、ホームページの見易さ等の閲覧者のユーザビリティの向上、コンテンツの充実などの具体的な実施方策を審議し、情報・広報事業活動に展開しました。

(3) インテリア普及啓蒙委員会

本委員会では、インテリアの普及啓蒙活動関係の展示会事業（リフォーム&インテリア 2012）、IC有資格者の能力育成事業関係のコンテスト事業（住まいのインテリアコーディネーションコンテスト）の具体的な実施方策などについて審議し、当該事業の実施に反映しました。

(4) IC資格制度検討委員会

本委員会では、IC試験委員会と連携して平成26年度からのIC一次試験の科目統合の方針化を審議するとともに、関連してICハンドブック改訂編集委員会と連携してICハンドブック改訂作業の進捗作業を点検するなどの活動を行い、関係事業を推進しました。

(5) KS育成・制度普及啓蒙委員会

本委員会では、KS制度の普及啓蒙活動関係のH24年度キッチン空間アイデアコンテスト、KS資格者の能力育成事業関係の調査・研究助成事業などに関する具体的な実施方を審議し、当該事業の実施に反映しました。

Ⅲ 個別事業

1. 資格認定試験事業及び資格者登録

IC資格認定2次試験とKS資格認定試験を、開催運営の効率的運用の観点からこれまでそれぞれ別の日で行っていたものを、同日・同一会場で実施しました。このことによりKS資格試験会場を従前に比べて四カ所の増加することが出来、受験者への利便性の向上を図りました。

また、資格制度関係ではIC資格認定1次試験について、現在、「販売」と「技術」の2科目で実施している試験を、統合して1科目とすることの可否を含めて具体的な検討を行い、結果、平成26年度の試験から科目統合することを方針化しました。

1-1 IC資格認定試験

第30回IC資格認定試験を以下の日程等により実施しました。

1次試験 平成24年10月14日(日) (全国15会場(13地域))

2次試験 平成24年12月9日(日) (全国15会場(13地域))

■平成24年度(第30回)申請者・受験者・合格者の概要 (人)

一次試験		二次試験	
受験申請者数	10,922	受験申請者数	4,600 (内:一次免除者1,788)
受験者数	9,515	受験者数	4,030 (内:一次免除者1,413)
合格者数	2,942	合格者数	2,554
一次合格率	30.9%	二次合格率	63.4%

■合格者数の推移[過去5年] (人)

年度[実施回]	受験者数	二次合格者数	合格率
平成24年度[第30回]	9,789	2,554	26.1%
平成23年度[第29回]	9,876	2,472	25.0%
平成22年度[第28回]	10,719	2,484	23.2%
平成21年度[第27回]	12,595	2,762	21.9%
平成20年度[第26回]	13,165	2,878	21.9%

1-2 KS 資格認定試験

第25回KS 資格認定試験を以下の日程等により実施しました。

平成24年12月9日（日）（全国15会場（13地域））

本年度の試験結果は、受験者が891名、合格者は342名となりました。

■合格者数の推移 [過去5年]

年度 [実施回]	申請者数			受験者数	合格者数	合格率 (%)
	総合	実技・学科	総数			
24年度(25回)	853	294	1,147	891	342	38.4
23年度(24回)	804	392	1,196	935	388	41.5
22年度(23回)	973	477	1,450	1,174	506	43.1
21年度(22回)	1,243	587	1,830	1,519	582	38.3
20年度(21回)	1,613	538	2,151	1,760	621	35.3
19年度(20回)	1,303	553	1,856	1,499	580	38.7

1-3 試験会場

本年度の試験会場は以下の13地域に設置しました。

札幌、盛岡、仙台、高崎、都内（二カ所）、名古屋、金沢、大阪（兵庫）、
広島、高松、福岡、宮崎、沖縄

1-4 資格者登録

資格試験新規合格者の資格登録事務及び有資格者の資格更新事務を確実に行うとともに、更新者のうち対象となる者に対してeラーニングを活用した登録更新研修を実施しました。また、登録更新者に配布している読本の改訂を行い技術情報等の収録内容の充実を図りました。

協会のホームページの有資格者向けサイト（マイページ）を利活用することが、有資格者にメリットがあることを広報する資料を作成して資格更新者に送付し、資格の継続維持（更新）を促しました。

平成25年3月末現在の資格登録者数は次のとおりです。

IC資格者 58,658人、KS資格者 8,937人

1-5 ICハンドブックの改訂

平成26年度からのIC 資格認定一次試験の科目統合に関連して、受験の教本として活用されているICハンドブックの改訂作業に本格的に取り組み、これまで内容を「販売編」と「技術編」とに分けていたものを統合することとし、その原稿の作成をほぼ終了しました。平成25年度早期に校正等を行い、同年11月に新ハンドブックの発刊を予定しました。

2. 教育・情報提供事業

2-1 通信教育事業

昨年に引き続き産業能率大学との業務提携により次のとおり実施しました。

① I C 受験講座

従前の基本講座（受講期間9ヶ月）、実技講座（受講期間3ヶ月）及び総合講座（受講期間12ヶ月）の3コースについて、期間短縮、受講料低減、教材の充実を行う等の改善した教育カリキュラムで講座開設し受講者の拡大に努めました。結果、延べ395名が受講しました。

② K S 受験講座

学科講座（受講期間5ヶ月）、実技講座（受講期間3ヶ月）及び総合講座（受講期間8ヶ月）の3コースについて講座開設を行い、延149名が受講しました。

2-2 情報提供活動

I Cハンドブック及びK Sハンドブックを資格認定試験受験者等に頒布するほか、それ以外の協会発行書籍の頒布活動を行いました。

インテリアに関する諸情報を、ホームページに掲載するとともにメールマガジン等によって広く提供しました。

累計で、I Cメールマガジン配信回数は60回、K Sメールマガジンの配信回数
は23回の実績となりました。

3. 講座等開催事業

従来の「トータルインテリアキャンペーン事業」及び「スキルアップ研修事業」でそれぞれ実施していたセミナーを「講座等開催事業」として次に掲げる講座に整理統合し、引き続き開催に努めました。

3-1 基礎講座・能力育成講座開催

各支部が主体となり、一般生活者及びI C、K Sを対象にインテリア等に関する講座、講演等を次のとおり全国各地域で開催しました。

①北海道支部

- ・バス見学会（6月21日）：

インテリア関連施設、ショールーム等を対象とした見学会実施しました。

- ・暮らしから育てるインテリア（平成25年3月21日）：

革製品に関するセミナー及び収納、リノベーション等をテーマに6講座を開催しました。

②東北支部

- ・フィンランドの暮らしとデザイン見学（5月16日）
- ・ミラノサローネトレンド（5月26日）
- ・伝統織物に関するスキルアップセミナー（6月13日）
- ・ものづくり工房めぐり（7月17, 31日）
- ・I C活動の紹介セミナー（12月8日）
- ・モデルハウスコーディネートセミナー（平成25年3月2, 3日）

③関東甲信越支部

年間を通じて収納、照明、カラー、塗装、コーディネーション等に関する20回のセミナーを実施しました。（日程等記載省略）

④中部支部

年間を通じて窓装飾、床材、照明、皮革、寝具、インテリア設計、コーディネーション等に関する12回のセミナー（工場や施設の見学を含む）を実施しました。（日程等記載省略）

⑤関西支部

- ・ I Cビジネススキルに関するセミナー（4月11日）
- ・ C A Dソフトの研修会（8月22日～9月12日間の水曜日）
- ・ カラー、パース講座（9月26日～10月17日間の水曜日、11月7日）
- ・ ホテルインテリア見学会（11月14日）
- ・ 住宅企画に関するセミナー（平成25年3月13日）（インテリアジョイントフェスティバル2013内企画）
- ・ 製品説明会（会員企業主宰 4月11日、7月5日、9月6日、12月19日）

⑥中国支部

- ・ インテリアスタイリストセミナー（平成25年3月27日）

⑦四国支部

- ・ 庭と植物に関するセミナー（7月11日）（インテリアフェア2012イン高知内企画）
- ・ 椅子のモデリングに関するセミナー（平成25年1月30日）（インテリアフェア2012イン愛媛内企画）

⑧九州支部

- ・ ショールームバスツアー（11月8日）
- ・ 収納に関するセミナー（3月6日）（トータルインテリアフェア内企画）

⑨沖縄支部

- ・ 暮らしとデザインに関するセミナー（平成25年2月21日）

3-2 インテリア普及啓蒙講座開催

若年層へ向けた普及啓蒙活動として、I Cの仕事や資格制度を紹介する講座を学生向けに、大学との連携やI C団体の協力を得て、次のとおり実施しました。

- ・ 千葉工業大学（平成24年10月2日）
- ・ 神戸松蔭大学（平成24年6月7日）
- ・ 関西大学（平成24年6月14日、11月8日）
- ・ 近畿大学（平成24年11月9日）

4. 調査研究支援事業

K S・I C有資格者、一般生活者あるいは学生がグループで実施するキッチン関連の調査・研究を助成するテーマ公募を行い、8件の応募がありました。しかしながら関係委員会での審査の結果、助成対象として選定するレベルに達するものが無く、支援には至りませんでした。

5. コンテスト事業

I CやK Sの資格取得を目指す者、同有資格者の能力向上を目的として、次に掲げるコンテストを実施しました。

5-1 平成24年度住まいのインテリアコーディネーションコンテスト

昨年に引き続き、インテリアの普及啓蒙とインテリアコーディネーター実務の向上を図ること目的に、平成24年度住まいのインテリアコーディネーションコンテストを次のとおり実施しました。

① 告知時期・募集期間

平成24年9月初旬（告知） 平成24年10月22日～11月22日（募集）

② 応募テーマ

◇事例分野（新築部門、リフォーム部門、スタイリング部門）

◇課題分野 A部門「私だけのインテリア空間」、
B部門「子どもたちを育むインテリア」)

③ 応募状況

チラシ、コンテスト専門WEBサイト（登竜門）等により、インテリアコーディネーター資格者、会員企業、協会支部、インテリア専門学校等への告知を行いました。またインテリア業界マスコミ等の協力を得て広報活動を行いました。

その結果、事例分野で92件、課題分野で367件、合計459件の応募がありました。

④ 審査

関係委員会における一次審査を経たのち、本審査を平成24年12月6日に実施しました。その結果、経済産業大臣賞1点、製造産業局長賞1点、会長賞3点、部門賞5点、優秀賞5点、審査員特別賞3点、特別奨励賞1点、合計19点が受賞作品として、審査委員によって選定されました。

◇審査委員（順不同、敬称略）

栗山 正也（日本インテリア学会理事）

山田 智稔（相模女子大学名誉教授）

小野 由記子（日本インテリアデザイナー協会副理事長）

土居 輝彦（インテリアマガジンLORO編集長）

河原 武儀（ライティングコンサルタント）

山口 博章（インテリア産業協会会長）

◇オブザーバー

三橋 敏宏（経済産業省製造産業局住宅産業窯業建材課長）

■上位入賞一覧

賞	分野	部門	作品タイトル	応募者名	都道府県
経済産業大臣賞	事例分野	リフォーム部門	THE WALL with angle of 6.2	和田 浩一	京都府
製造産業局長賞	課題分野	課題 A 部門	団塊退職爺の愉快空間	谷本 正明	愛知県
会長賞	事例分野	新築部門	ガクソウノイエ	笹栗 和幸	広島県
会長賞	課題分野	課題 A 部門	Frame+Nature 自然をたのしむ家	藤枝 千暁	京都府
会長賞	課題分野	課題 B 部門	home・arcade	鎌田 将太	東京都

⑤表彰式

平成25年1月22日（京王プラザ）

5-2 平成24年度キッチン空間アイデアコンテスト

昨年に引き続き、キッチンスペシャリスト育成事業の一環として、「平成24年度キッチン空間アイデアコンテスト」を次のとおり実施しました。

①募集期間：平成24年9月15日～平成24年11月15日

②応募テーマ：

「こんな人に、こんなキッチンを伝えたい」暮らしが生き生きと豊かで楽しくなるキッチン空間（下記A、B、Cの中から）

A：団らんキッチン空間

B：人に優しい空間・地球に優しいキッチン空間

C：暮らしが変わったキッチンリフォーム空間（実施例）

③応募状況：

募集要項・チラシの関係各種機関への配布、KS・ICメルマガでの募集、協会Webでの募集あるいはコンテスト専門WEBサイト（登竜門）の利用など広く広報を行いました。

その結果、応募総数は297作品（A：216作品、B：64作品、C：17作品）に達し、そのうちインテリア教育関係機関の協力の効果で、6割強の192作品が学生からの応募でした。

④審査：

関係委員会における一次審査を経たのち、本審査を平成24年12月7日に実施しました。その結果、最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作9点が受賞作品として審査委員によって選定されました。

◇審査委員

上野 義雪（千葉工業大学 教授）（委員長）

樋口恵美子（キッチン・バス工業会キッチン技術専門委員会委員）

西田 恭子（三井のリフォーム住生活研究所 所長）

山口 博章（インテリア産業協会会長）

江藤 祐子（インテリア産業協会 KS 資格制度検討委員会委員長）

■上位入賞一覧

賞	コース	作品タイトル	入賞者名	所属先等
最優秀	A	LIFE >kitchen 生活に食い込むキッチン空間の提案	福島 翔平	九州大学
優秀	A	SHARE OFFICE SHARE KITCHEN SHARE TALK	影山 聡子	慶應義塾大学
優秀	A	キッチンを家具へ	高橋 咲樹	千葉工業大学
優秀	B	ひとり暮らしの”ながらキッチン”	前川 杏奈	スペースデザインカレッジ 東京校
優秀	C	センターキッチンを中心に回遊動線で室内空気環境に配慮したローコストマンション住宅	野村 亜由美	三井不動産リフォーム株式会社

⑤表彰式

平成25年1月22日（京王プラザ）

5-3 「こんな部屋いいな」絵画コンテスト

H24年度も引き続き東北支部が担当して、小学生を対象として次のとおり開催しました。

◇ 学童を対象としたインテリア絵画コンテスト（東北支部主催）

名 称：第10回「こんな部屋いいな 絵画コンテスト」

共 催：宮城インテリアコーディネーター倶楽部

デザインウィーク in せんだい実行委員会

募集対象：仙台市を中心とした宮城県下の小学生

募集テーマ：「こんな部屋いいな」

募集期間：平成24年8月末～平成24年10月22日

応募総数：2015点（64校）

入 賞：仙台市長賞、仙台市教育長賞、協会会長賞、他入賞61点

※この絵画コンテストは地域、学校教育関係の協力のもと、恒例のコンテストとして根付き、高く評価されています。

5-4 他団体主催コンテストへの協力

下記コンテストに対し、当協会は協賛を行い協会賞の贈呈を行いました。

①第8回「台所とお風呂の川柳」

主 催：キッチン・バス工業会

募集対象：一般

募集期間：平成24年4月～平成25年7月15日

応募総数：108,863件

②第4回全国高等学校インテリア科インテリアデザインコンテスト

主 催：日本フリーランスインテリアコーディネーター協会

募集対象：高校生（全国高等学校インテリア科教育研究会参加校）

募集テーマ：「将来の私と家族の住まい空間」

募集期間：平成24年11月～平成25年1月末

応募総数：38件

6. 一般生活者に対するインテリア普及啓蒙事業

6-1 展示会事業

日本経済新聞社との共同開催により、休日開催を取り入れた一般生活者の来場の利便性を向上させる展示会を開催したほか、関西支部が大阪地区でリビング・デザイン関係の展示会に出展しました。

◇「リフォーム&インテリア2012」開催結果

名 称 リフォーム&インテリア2012

主 催 日本経済新聞社、インテリア産業協会、

会 期 2012年9月21日（金）～23日（日）

会 場 東京ビッグサイト西展示ホール

(1)開催テーマ

全体テーマ：「住まいと暮らしをスマートに」

当協会テーマ：「CURIOSITY WORLD」（約2000㎡）
～リフォームの好奇心、インテリアのコウキン～

(2) 出展者数と来場者数

出展は131社(展示会全体)、内当協会プロデュース展示に関する協賛43社、来場総数30,713人(三日間累計)でした。

(3) 展示内容・関連企画の概要

① インテリアコーディネーターによる6つのシーン展示

シーン内容を広くICから募集し、採用案を基に6つのシーン展示を設営しました。シーンにはリフォーム後の「アフター」のインテリア空間を再現し、IC独自の発想が活かされたしつらえを演出しました。

◇シーンコンセプト:

- 1) SMART NOSTALGIC 懐かしさを残しながらよりスマートに
- 2) NATURAL PLAYFUL ナチュラルを楽しく
- 3) AUTHENTIC AVANT-GARDE 本物を斬新に
- 4) EARTH & PET FRIENDLY エコでペットに優しく
- 5) UPDATED CLASSIC アップデートされたクラシック
- 6) CASUAL CHIC カジュアル

② インテリアコーディネーターの「プチリフォーム提案」(パネル展示)

生活者が身近に取り組めるリフォームアイデアをイラストパネルで展示しました。(協力: 関東甲信越IC協議会)

③ ワークショップ(来場者参加形式)

会場内に専用スペースを設け、3日間参加型の次のワークショップを開催しました。参加者数は約400名でした。

- 1) セルフペインティング(協力: 関西ペイント株)
- 2) マスキングテープ(mt)による、小物制作(協力: カモ井加工紙株)

④ セミナー・講演会の開催

会場内に三つのセミナースペースを設け、セミナーを実施しました。

- 1) メインステージ(24コマ内に当協会講師6名)
- 2) 入門ステージ(26コマ内に当協会講師10名)
- 3) インテリアセミナースペース(当協会企画15コマ)

⑤ コンテスト入賞作品の紹介(パネル展示)

コーディネーションコンテスト及びキッチンアイデアコンテストの入賞作品パネルの展示と作品集の配布を行いました。

⑥ カタログコーナー(協会会員)の設置

協会会員の商品カタログ等の設置スペースを設け、来場者への閲覧用、持ち帰り用として、カタログを提供しました。(約30社が資料を提供)

⑦ 交流会

出展企業、会員ならびにIC・KS有資格者の交流会を会場内にて開催しました。(参加者約210名)

◇「リビング&デザイン2012」

名称 リビング&デザイン2012

主催 LIVING & DESIGN 2012 実行委員会、

会 期 2012年10月24日(水)～26日(金)

会 場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

(1) 出展内容

会員企業19社と共同してリビング、ダイニングルーム等のインテリアシーンの展示を行った。

(2) 展示会全体来場者数： 約7300人

6-2 ICBC支援事業

一般生活者へのインテリア普及促進を図るため、生活者とICと会員企業との相互連携を支援する目的で実施してきた本事業については、参加者及び利用の少ない状況に鑑み、検討の結果平成24年12月をもって廃止しました。

7. 支部活動

沖縄支部を設置し、沖縄県内における協会事業の推進をスタートしました。

また、会計処理、事務局業務委託契約、事務所貸借契約などの事務処理の整備を全支部統一的に行ったほか、個別の支部事業実施結果の報告処理ルールを整備しました。

8. 会員入会の促進

協会事業の活性化を図るため、各事業委員会においても会員入会促進策を検討し、新たな事業案内、入会案内を作成してホームページ等に掲載しました。協会本部・支部が中心となって、現会員、IC団体等の協力を得て、新規会員入会の働きかけを行いました。

9. IC団体の会員拡大(組織化率向上)推進

支部の事業の機会を通じて、IC団体の事業紹介、団体への入会推進を積極的に行うなど引き続き全国のIC団体の会員増強及び組織化の向上に努めました。

10. 交流活動

インテリア関連諸団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進することによって、当協会諸事業の普及啓蒙と効率的運営に努めました。

次の関連団体に会員として継続加盟し、さらに、引き続き当該団体の委員会委員等を務めるなど連携協力を行いました。

①日本建材・住宅設備産業協会(団体連絡会参加)

②住宅リフォーム推進協議会(広報研修委員会参加)

11. 調査・研究活動

ICやKSの資格認定制度、その他の協会事業の改善や効率化に関して、必要に応じて実施することとしている調査・研究については、実施が必要なテーマが無かったことから、特段の活動はしませんでした。

12. 情報・広報活動

協会事業の広報、IC・KS制度の認知度向上を図るために、協会ホームページの該当Webサイトの改善など次のとおり実施しました。

12-1 一般生活者投稿参加型のコンテンツ運用開始

一般生活者のインテリアへの興味・関心を高めるために、自宅等の自慢のインテリアの写真を応募してもらい入賞したものを掲示する参加型Webコンテンツを初めて設けました。試行的に運用を開始したところ100件余りの応募がありました。

12-2 一般生活者向けコンテンツの充実

一般生活者向けコンテンツ（インテリア大好き！）内に、ICならではの視点によるインテリアコーディネート実例等や解説を掲載し、インテリアに関する興味や関心を高めよう当該コンテンツの充実を図りました。

12-3 ホームページのユーザビリティの向上

閲覧者して分かりやすいページ構成（配置やアイコン）・言葉を使用し、QAやイラストを入れた解説等も作成するなどして、ユーザビリティを高めました。

12-4 関連メディアへのリリース配信の効率化と整備

プレスリリースの専門企業に委託して協会情報をこれまでより広域的かつ能動的に発信する見直しを行った。また、発信先の関連メディアのリスト整備を行いスムーズなリリース発信が可能になりました。

この結果、業界紙等での当協会関係情報の掲載実績が大きく向上しました。

以 上